

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立日根野小学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成28年4月19日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年，全児童

実施児童数（155人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- 平均正答率は、全国平均、大阪府平均を上回っている。平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べ中上位層はやや多く、中下位層はやや少ない。

平均正答率 (本校 75.4 / 泉佐野市 69.5 / 大阪府 71.3 / 全国 72.9)

「B 区分問題」

- ・平均正答率は、全国平均、大阪府平均を上回っている。平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べ中上位層はやや多く、中下位層・下位層はやや少ない。

平均正答率 (本校 60.6 / 泉佐野市 52.4 / 大阪府 55.4 / 全国 57.8)

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【話すこと・聞くこと】 ○目的や意図に応じて、収穫した情報を関係づけながら話し合うことにやや課題がある。 2 話し合いの説明として適切なものを選択する。 (76.6/79.2) 【書くこと】 ○書き手の表現の仕方をよりよくするために助言することにやや課題がある。 3 ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する。 (77.9/67.4) 【読むこと】 ○登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉えることにやや課題がある。 6 『おばあさんの飛行機』を読んで、登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する。 (63.0/63.9)	【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことは概ねできている。 1-1 5年生で習う漢字を読む。〈快晴〉 (90.9/79.3) ○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むこと、書くことにやや課題がある。 1-3 4年生で習う漢字を読む。〈省く〉 (76.0/81.0) 1-2 3年生で習う漢字を書く。〈相談〉 (64.9/64.2) ○平仮名で表記されたものをローマ字で書くこと、読むことは全国平均を上回るが、やや課題がある。 8-2 ローマ字を書く。〈あさって〉 (44.2/41.8) 8-3 ローマ字を読む。〈h y a k u〉 (57.8/50.7)

国語B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【書くこと】 ○目的や意図に応じて、自分の考えを書くことは全国平均を上回っているが、やや課題がある。 2 二 (2) 目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書く。(76.0/64.2) ○活動報告文において、課題を取り上げた効果を感じることによりやや課題がある。 2 三 「早ね早起き」活動の報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する。(49.4/58.3) ○目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことは、全国平均を上回っているが、やや課題がある。 3 三 「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く。(61.0/52.9)	【読むこと】 ○目的に応じて、中心となる語や文を捉えることは全国平均を上回り、概ねできている。 3 二 「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係づけてまとめたものとして適切なものを選択する。(81.2/77.9)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	56.5	58.3		1.8
国語の勉強は大切だと思いますか	95.5	91.3		4.2
国語の授業の内容はよく分かりますか	85.1	80.7		4.4
読書は好きですか	74.0	74.6		0.6
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	85.1	89.2		4.1
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	45.4	67.0	○	21.6
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	46.7	62.3	○	15.6
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	66.2	74.0	◇	7.8
国語の授業で文章を読むとき、段落や話しのまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	78.6	78.1		0.5
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	68.8	75.1	◇	6.3
調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	82.4	85.2		2.8
調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	65.6	71.6	◇	6.0

○「国語の勉強は好き」と感じている児童の割合が低く、全国と比べても低いことは課題である。

○国語の授業で、自分の考えや意見を伝えたり表現したりすることに関して、苦手に感じている児童が全国に比べて多く、課題である。

○国語A・Bともに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の各領域において、平均正答率では全国とほぼ同じか、上回っている。

○特に、「書くこと」は国語Aでは5.8ポイント、国語Bでは3.0ポイント、全国を上回っており、学習内容が定着している。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- 平均正答率は、全国平均、大阪府平均を上回っている。平均正答数の全体的な分布は、国、府と比べて上位層が多く、下位層は少ない。

平均正答率（本校 83.6／泉佐野市 75.0／大阪府 76.9／全国 77.6）

「B区分問題」

- 平均正答率は、全国平均、大阪府平均を上回っている。平均正答数の全体的な分布は、国、府と比べて中上位層がやや多く、下位層は少ない。

平均正答率（本校 50.5／泉佐野市 44.0／大阪府 45.8／全国 47.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
【数と計算】 ○除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解することにやや課題がある。 1（2） $2.1 \div 0.7$ を、除数が整数になるように工夫して計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く。（76.0/68.5） ○末尾の位のそろっていない小数の加法の計算をすることは概ねできている。 2（2） $4.65 + 0.3$ を計算する。（93.5/77.1） ○小数の除法の計算をすることは概ねできている。 2（3） $18 \div 0.9$ を計算する。（86.4/77.7） 【量と測定】 ○三角形の底辺と高さの関係について理解することは概ねできている。 5 三角形の底辺に対する高さを選ぶ。（88.3/82.0）	【図形】 ○直方体における面と面の位置関係を理解することは概ねできている。 7 直方体において、示された面に垂直な面を選ぶ。（85.7/78.0） 【数量関係】 ○全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味について理解することは概ねできている。 8 テープ全体の長さを基にしたときの赤い部分の長さの割合が、一番大きいものを選ぶ。（84.4/74.4） ○示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことは概ねできている。 9（1）前に10人、後ろに19人並んでいることを基に、列に並んでいる全体の人数を求める式と答えを書く。（91.6/80.2）

算数B	特徴がみられた設問
【数と計算】 ○示された式に数値を当てはめて、目標のタイムを求めることにやや課題がある。 2（2）40mハードル走の目標のタイムを求める式に8.1と4を当てはめて、まなみさんの目標のタイムを求める式と答えを書く。（55.8/50.5） ○示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述することに課題がある。 2（3）目標のタイムを求める式の中の0.4や0.3が表す意味を書く。（8.4/15.6） ○乗法や除法の式の意味を解釈することにやや課題がある。 3（1）三つの式について、それぞれの式が何を計算しているかの説明文を選ぶ。（72.1/62.6） ○縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことができる理由を記述することにやや課題がある。 3（2）縦39cm、横54cmの長方形の厚紙から、1辺9cmの正方形を24個切り取ることができるわけを書く。（45.5/38.4） 【図形】 ○正方形に内接する円の半径について理解することは概ねできている。 3（3）1辺が9cmの正方形に内接する円をかくために、コンパスの鉛筆の先を合わせる位置を選ぶ。（83.1/76.5）	【図形】 ○示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述することに課題がある。 5（1）示された形を作ることができることを説明する式の意味を、数や演算の表す内容に着目して書く。（4.5/6.9） ○図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することに課題がある。 5（2）示された四角形を並べてできる図形を選ぶ。（27.9/25.4） 【数量関係】 ○ハードルの数とインターバルの数の関係を式に表し、4台目のハードルの位置を求めることにやや課題がある。 2（1）ハードルとハードルの間が5mのコースの、スタート地点から4台目のハードルを、巻き尺の何mのところに置けばよいか書く。（63.6/56.0） ○示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定することにやや課題がある。 4（2）示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ。（77.3/70.7）

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	79.8	66.0	○	13.8
算数の勉強は大切だと思いますか	94.8	91.9		2.9
算数の授業の内容はよく分かりますか	86.4	80.2	◇	6.2
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	81.2	75.8	◇	5.4
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	85.1	81.0		4.1
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	62.3	67.4		5.1
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	84.4	89.9	◇	5.5
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	76.0	80.5		4.5
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	83.8	80.8		3.0
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	78.5	84.8	◇	6.3
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	68.8	72.0		3.2
調査問題の解答時間は十分でしたか（算数A）	89.6	86.3		3.3
調査問題の解答時間は十分でしたか（算数B）	59.1	57.3		1.8

○算数への興味関心は全国と比べて非常に高く、意欲的である。

○算数A・Bともに全国と比べて平均正答率が高く、学習内容が定着している。

○式の意味を記述したり、式に表された数が何を表しているかを記述したりする設問の正答率が低く、言葉を使って説明することに課題がある。

○与えられた課題に対して解決することができるが、そのことをどのように活かすことができるかについては、考えていない。

○ノートの使い方は、受動的なものになっており、解き方や考え方を分かりやすく書く工夫や努力がされていない。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（たとえば、1. 当てはまる 2. どちらかと言えば当てはまる 3. どちらかと言えば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては、10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本 校 < 本 校 回 答 率 / 全 国 回 答 率 >
【家庭生活の様子】	○社会貢献への関心が低い ○テレビゲームなどを長時間している児童が少ない ○家族との会話をよくしている	○地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか <u><23.4/36.2></u> ○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか 3時間以上<9.1/16.0> ○家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか <u><87.0/79.2></u>
【家庭学習の様子】	○学校以外の時間に勉強している児童の割合が多い ○通塾率は全国を上回っている ○予習・復習の習慣は十分身につけているとはいえない	○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） 2時間以上<31.8/25.5> ○学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか 通っていない<44.2/53.9> ○家で、学校の授業の予習をしていますか <u><34.4/43.3></u> ○家で、学校の授業の復習をしていますか <u><40.9/55.2></u>
【学校での学習の様子】	○自分の考えを説明したり文章にすることが苦手である ○総合的な学習の時間では課題解決や発表などの学習活動に取り組んでいると考える児童の割合が全国より低い ○学校が楽しいと思っている	○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか <u><31.8/45.0></u> ○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか <u><38.9/65.4></u> ○学校に行くのは楽しいと思いますか <u><92.2/86.3></u>

本 校 の 取 組 み

◎これまでの取り組み

【国語】

- ・話し合い活動の時間を多く設け、自分の意見を言ったり、友だちの考えを聞いたりする活動を発達段階に応じて取り組む。
- ・文学教材に多く触れさせ、情景や登場人物の心情を考えさせる。
- ・意味調べや例文づくり、言葉のきまりや熟語についてなどの「言語の学習」を大切にする。
- ・本の面白さをしっかり伝え、読書指導を充実させる。また、物語やお話の読み聞かせで、多くの読み物に出会わせる。

【算数】

- ・問題解決の機会を多く設け、答えを求めるだけでなく、なぜその答えになるのかを説明する活動を増やす。
- ・自分の考えをノートに書いたり、それを友だちに説明したりする活動を積極的に行う。
- ・図形の定義や性質について触れる活動を増やす。
- ・見やすいノート作りを推進し、ノートのとり方を工夫させる。

【生活】

- ・全ての学習活動や行事において、子どもたちの自主性を養う。
- ・できていないことだけではなく、できていることにも目を向け、肯定的な声かけをすることで、児童のがんばろうという意欲を高めていく。
- ・道徳の授業を研究する中で、「相手のことを考えて行動する」ということを大切にする。
- ・地域の方と触れ合い、地域の方に学ぶ取り組みを行う。

◎これからの取り組み

【国語】

- ・前年度までに学習した漢字についても、さらに反復練習をして定着を図る。
- ・ローマ字を学習する学年以降にも、継続してローマ字学習に取り組む。
- ・低学年から短文づくりなどの経験を積むことで、語彙力を獲得させるとともに、書くことへの抵抗を少なくする。
- ・文字数や場の設定などの条件付きで作文を書いたり、本や新聞記事の紹介をすることで長文を要約したりする活動を引き続き取り入れていく。

【算数】

- ・問題解決学習では、ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れ、友だち同士で学び合い高め合う活動にしていく。
- ・文章題の読み取りでは、「大切な数に下線・聞かれていることに波線・答えの単位に○」の日根小ルールを継続して行う。
- ・立式する際は、文章の言葉だけに頼らず、具体物や絵を用いてイメージさせることを大切にする。
- ・算数の基礎基本の定着のため、朝学習の計算などの反復練習を今後も継続して行う。

【生活】

- ・自分が住んでいる地域に着目した活動を増やし、地域の行事等にも参加するように促す。
- ・予習や復習などの家庭学習の習慣をつけるため、自主学習を推進するとともに、保護者にも啓発していく。
- ・総合的な学習の時間の内容を充実させ、その活動を総合ファイルにまとめる取り組みを今後も継続して行う。